



山本亮介 議員

Ryosuke Yamamoto



12月定例会

チャレンジ

トピックス

一般質問

追跡

Q.富士学習等供用施設の備品の管理は A.修繕できないものは買い替える

Q 各学習等供用施設の集会室にある机・イス・卓球台の備品の数は。

A 教育次長
富士は机23脚、イス78脚、卓球台2台、東部は机30脚、イス87脚、卓球台3台、新栄は机26脚、イス97脚、卓球台2台である。

Q 施設ごとに備品の数に違いがあるが、なぜか。

A 教育次長
各施設の集会室備品は、基本的には同数を基本としているが、倉庫の大きさや購入時の状況等により収納数が異なっている。

Q 備品の買い替えや数が増減するときの基準はあるのか。

A 教育次長
備品の購入は町が行っている。買い替えの基準については、修繕が不可能であると判断した

場合に買い替える。備品数の増減については、当初の数をベースとし、利用の状況や利用者の要望等を考慮して判断している。

Q 施設利用者の声や現状を知るために、指定管理者のシルバー人材センターとの連携はどのように行われているのか。

A 教育次長
毎年5月、9月、12月、3月に学習等供用施設指定管理者打ち合わせ会議を定期的に行っている。

また、管理運営等に問題が発生した場合には、随時打ち合わせ会議を行うことになっている。これらの会議以外にも、利用者からの要望や苦情を受けたり、大きな修繕事例が発生したりした場合には、その都度連絡をす



▲富士学習等供用施設の卓球台は更新が必要